

令和2年度
(2020年度)

市議会事務局の取り組み

<部長の方針・考え方>

- ①本会議、委員会等が円滑に議事運営されるようサポートを行う。
- ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速にサポートを行う。
- ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。

<部の構成>

市議会事務局

<主な担当事務>

- (1)本会議等の運営に関すること。
- (2)議長・副議長の秘書に関すること。
- (3)政務活動費の交付に関すること。
- (4)本会議等の記録作成に関すること。
- (5)枚方市議会報の発行に関すること。
- (6)議員の調査・研修に関すること。
- (7)議会の政策法務に関すること。

具体的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、市議会事務局として、きめ細かな調整、準備に取り組みます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査に取り組む常任委員会の活動等に対するサポートを的確に行います。また、議会基本条例に基づいた議会機能がさらに充実するよう、専門的知識の習得に向けた議員研修内容の充実を図るなど、議会全体の更なる機能強化に取り組めます。

具体的な取り組み：多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実

議会活動に関する情報発信については、現在実施している一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継を継続し、引き続き市民ニーズを踏まえた多様な情報発信に努めます。

具体的には、次の情報発信方法を継続して行う（令和2年度当初予算額1986万4000円）とともに、より効果的に情報発信を行うことができる方策を検討します。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議の生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

具体的な取り組み：災害発生時における様々な支援活動体制の強化

地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、臨時的に開催する「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」などにおいて迅速かつ円滑に対応できるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努め、体制の強化を図ります。

具体的には、大規模災害が発生した状況を想定し、「災害伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」を用いた議員の安否確認訓練等の災害訓練を定期的実施するとともに、事務局職員の災害発生時の支援活動体制の強化を図ります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内において様々な対応が求められている中、市の対応策や地域の状況等の最新の情報を議員間で共有するため、円滑に「市議会災害対策連絡会議」が開催されるよう正副議長の適切なサポートに努めます。

具体的な取り組み：タブレット型端末の導入によるペーパーレス化の推進

環境への配慮として紙の使用量を抑制するとともに、印刷費用を削減し、議会資料の準備事務等を効率化するため、議員用のタブレット端末を導入し、ペーパーレス化を推進します。また、ペーパーレス会議による効率的な会議運営を目指します。

具体的には、議員用のタブレット型端末の導入に向け、早期に使用範囲や使用基準など詳細を決定するとともに、ペーパーレス会議の活用に向けた検証などに取り組みます。

具体的な取り組み：政務活動費の適正な運用

市民の信頼に応えるため、政務活動費の適正な執行と、さらなる使途の透明性向上を図ります。

具体的には、情報化の進展や市民ニーズの多様化など、様々な社会情勢の変化に対応するため、本市議会で作成した「政務活動費マニュアル」を活用しながら、議員に対して最新の判例などの情報や、支出の適否に係る判断材料の提供を丁寧に行うなど、政務活動費の適正な運用に努めます。また、令和2年度より、収支報告書だけでなく、領収書や各種活動（視察・研修等）報告書等、収支報告に関係する資料についてもホームページに掲載することで、さらなる使途の透明性向上を図ります。